



担 当	福井労働局労働基準部監督課	
	監督課長	中村 隆
	専門監督官	澤井乙夫
	電 話	0776-22-2652

福井労働局働き方改革推進本部の設置について

平成26年6月24日に閣議決定された『日本再興戦略』改訂2014、新たに講ずべき具体的施策として「働き方改革」の実現が掲げられております。

また、平成26年11月28日に施行された「まち・ひと・しごと創生法」では、基本理念として「仕事と生活の調和を図ることができるよう環境の整備を図ること」「地域の特性を生かした魅力ある就業の機会の創出が掲げられておりますが、働き方改革の取組については、地域における「ひとの創生」や、雇用の質を重視した「仕事の創生」にも資すると考えております。

こうしたことを踏まえ、福井労働局（局長 加藤滋穂）では、福井県内の企業が長時間労働や転勤を一律の前提とする雇用管理を見直す「働き方改革」の実現に向けて、その取組体制を強化するため、労働局長を本部長とする「福井労働局働き方改革推進本部」を平成27年1月8日に設置いたしましたので、お知らせいたします。

福井労働局働き方改革推進本部（別添「設置要綱」参照）

1 目的

長時間労働や転勤を一律の前提とする雇用管理を見直す「働き方改革」を実現するため、企業トップへの働きかけや気運の醸成を図ること。

2 構成メンバー

- 本部長 労働局長
- 副本部長 労働基準部長
- 本部員 職業安定部長、雇用均等室長、監督課長

3 実施内容

- 働き方改革の促進のための取組方針の決定
- 働き方改革の促進のための団体・企業のトップへの働きかけ
- 働き方の見直しに向けた地域全体における気運の醸成
- その他働き方改革の促進のために必要な取組

福井労働局働き方改革推進本部 設置要綱

1 目的

労働者の心身の健康確保、仕事と生活の調和、女性の活躍推進等の観点から、法定労働条件の履行確保を前提とした上で、個々の企業において、労使の話し合いを通じて、所定外労働時間の削減、年次有給休暇の取得促進、始業及び終業の時刻の設定の見直し、勤務地や勤務時間等を限定した多様な正社員制度、適正な労働条件の下でのテレワークの普及など長時間労働や転勤を一律の前提とする雇用管理を見直す「働き方改革」を進めていくことが求められている。

「『日本再興戦略』改訂2014」（平成26年6月24日閣議決定）においても、「新たに講ずべき具体的施策」として「働き方改革の実現」が掲げられ、その具体策として「働き過ぎ防止のための取組強化」が明記されるなど、長時間労働対策の強化が政府としての喫緊かつ重要な課題となっている。

また、平成26年11月28日に施行された「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）の基本理念として、「仕事と生活の調和を図ることができるよう環境の整備を図ること」、「地域の特性を生かした（中略）魅力ある就業の機会の創出を図ること」が掲げられており、働き方改革の実現に向けた取組はこれらにも資する。

こうしたことから、働き方改革の実現に向けた取組をさらに強化するため、企業トップへの働きかけや気運の醸成を図ることを目的とする。

2 設置

働き方改革の実現に向けた対策を推進するため、福井労働局に、福井労働局働き方改革推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

3 構成メンバー

本部長	労働局長
副本部長	労働基準部長
本部員	職業安定部長、雇用均等室長、監督課長

4 実施内容

- (1) 働き方改革の促進のための取組方針の決定
- (2) 働き方改革の促進のための団体・企業のトップへの働きかけ
- (3) 働き方の見直しに向けた地域全体における気運の醸成
- (4) その他働き方改革の促進のために必要な取組

5 会議

労働局長は、必要に応じ会議を招集する。

6 庶務

本部の庶務は、労働基準部監督課において処理する。